

大学院
(男女共学)

大 学

短期大学部

高等部

中学部

小学部
(男女共学)

幼稚部
(認定こども園・男女共学)



Contents

特集1 【第20回ACジャパン広告学生賞】受賞 … 2～3

- 学園イベント情報 … 4～5
- 学園各部ホームページ紹介 … 6
- TVK「あっぱれ!KANAGAWA大行進」の撮影について … 6
- 学園各部報告 … 7～9
- 同窓会だより/ご寄付のお願い … 10



見つめる人になる。見つける人になる。



相模女子大学

SAWAMI NEWS



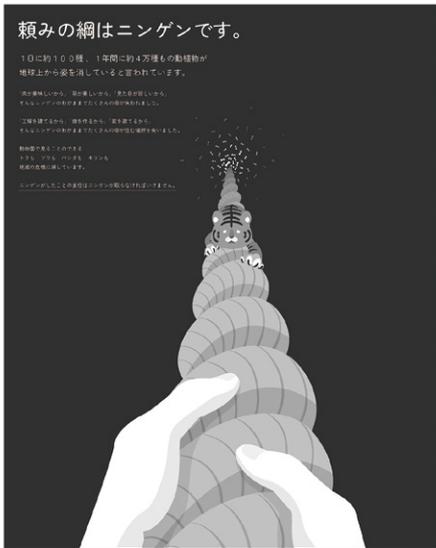
生活デザイン学科
《新聞広告部門》

新聞広告に限らず一枚の絵で伝えたいことを伝えるということは大変難しいことです。一方で真っ白な紙に色、形、言葉を要素に構成される表現の可能性は無限です。受賞した2作品はそういった一平面上における表現の可能性が存分に発揮されました。三木さんの作品『僕だって車のなかま。』のシンプルな絵柄に込められたアイデアとキャッチコピー（言葉）との関係は広告表現においても秀逸な作品となりました。伊藤さんの作品『頼みの綱はニンゲンです。』は誌面という矩形を一枚の絵として捉え、遠近法で描かれた手は見る側の差し伸べる手が必要であることを象徴しています。作者の切実な思いがしっかりと伝わってくるインパクトある作品となりました。（指導担当：生活デザイン学科 堀内）

優 秀 賞

伊藤菜穂さん

「1日に約100種、1年間に約4万種もの動植物が地球上から姿を消している」この言葉を聞いて、動物園にいる動物も近いうちに2度と見ることができなくなってしまうかもしれない現状を知り、絶滅について考えるきっかけになればと思い制作しました。絶滅という状況に追い込んだのは人間なのに、人間に頼らざるを得ない。絶滅間近の動物にとって人間が命綱であることを表現しました。特にこだわった点は、遠近感、明暗、トラの手と表情です。



ACジャパン広告学生賞 新聞広告部門 応募作品

審査員特別賞

三木花恵さん

私たちの身近な乗り物である自転車は、道路を通行するときは自動車と同じ車としての交通ルールを守らなければなりません。しかし、交通ルールをよく知らないから守らないという割合がかなり高い現状にあります。自分を守るためにも、自転車の交通ルールを知り、守ってもらいたい。という思いでこのテーマを選びました。工夫した点は自転車と車の車輪を同じ円で描くことによって、自転車も車のなかまであるということを表現したところがポイントです。自転車目線での文章にすることで、普段の生活で自転車に乗るときも思い出してもらえたら嬉しいなと思います。



ACジャパン広告学生賞 新聞広告部門 応募作品

ACジャパン広告学生賞とは

若い世代が広告制作を通して公共広告への理解を深め、「公」への意識を育むことを目的に2005年に設立されました。

CM学生賞の名称で「テレビCM部門」からスタートし、第13回の開催から「新聞広告部門」を新設したのを機に広告学生賞へと名称変更しました。

グラフィック部門の新設により表現の幅も広がり、より多くの学校に参加いただけるようになりました。

学生ならではの自由な視点や発想を選考のポイントとし、グランプリ・準グランプリ受賞作品は、BS民放11局と全国5紙に放送・掲載されるということが、この学生賞の最大の特徴でありメリットといえます。

今後も、枠にとらわれず若い世代の視点から放たれる斬新な企画を期待しています。

公益社団法人 AC ジャパン "AC ジャパン広告学生賞とは" 第20回ACジャパン広告学生賞
<https://www.ad-c.or.jp/campaign/cm/about/index.html> (参照 2024-07-03)

メディア情報学科 《テレビCM部門》

今年は、38校の大学から、266点の作品が集まりました。その中から、メディア情報学科3年生の岡本みのりさん、熊澤彩花さん、吉川侑里さん、山元海華さんの共作によるAEDをテーマにしたCM「一分一秒無駄にできない」がテレビCM部門で奨励賞を受賞しました。

去年に続いて入賞を果たしてとても嬉しいです。本作品はメディア情報学科の専門科目である「広告制作演習」でチームを組んで制作したものです。学生が主体となり、企画から出演、撮影、編集まで、制作工程で次々と出てくる課題を解決しながら完成しました。「一分一秒無駄にできない」時にAEDの設置場所を知ることの重要性を映像でうまく表現し、高く評価されたと思います。おめでとうございます。(指導担当：メディア情報学科 金)

奨励賞

熊澤彩花さん

身近にあるけれど、意外と場所までは知らないなど思っている人は少なからずいるのではないのでしょうか。ちなみに私もその一人です。撮影を通して、非常時の際に必要なAEDの場所を把握することの大切さに気づくことができました。AEDの場所を知っているかどうかで、人を救えるかどうかに大きく関わってくるという重要性を可視化させた作品です。

奨励賞

岡本みのりさん

AEDの設置場所を具体的に思い出すことはできませんか。学校や駅など、身近なところではAEDを見かけることがあると思います。しかし、実際に必要となった時、迷わず取りに行く自信がある人は少ないのではないのでしょうか。一分一秒も無駄にできないなか、探し迷っている時間はありません。AEDの設置場所をしっかり把握して欲しいということ、探す一分一秒が命に大きく関わっているということをもこの動画に込めました。

奨励賞

山元海華さん

この作品は、AEDの重要性とその場所の意識を促すことを目的としています。AEDは知っているけれども、実際にどこにあるか分からない。本当に必要な時、走る先にAEDがあるのか。分かるのは日頃からAEDの必要性を意識している人です。この作品を通して、私も常にAEDの場所を意識しながら生活していきたいと思えます。

奨励賞

吉川侑里さん

私達は普段生活している中でAEDを使っている場面はそう多くありません。しかし悲劇はなんの前触れなく起こります。この作品でそのことを多くの人が再認識し、いつもの当たり前の生活の中で意識するきっかけになればいいなと思います。



●オープンキャンパス・学校説明会

大学ではオープンキャンパスや入試説明会、併設各部では学校説明会や体験授業など、今後開催予定の学園イベント情報を一挙ご紹介! 事前予約制のイベントもありますので、詳細は各部ホームページでご確認の上、お早めにお申し込みください!

大学院 大学 短期大学部 ※HPにて要予約

●オープンキャンパス ※

・7月27日(土) 11時～16時 ・8月24日(土) 11時～16時 ・9月16日(月・祝) 13時～16時 ・12月7日(土) 13時～15時
 学科紹介 / 体験授業 / 入試制度説明 / 各種個別相談 / キャンパスツアーなど ・3月23日(日) 13時～16時

●キャンパス見学&入試説明会 ※

・10月12日(土) 14時30分～16時30分(開催日により内容は異なります。12月は1.2年向けミニOCになります。)

●公開行事【相生祭】

・11月3日(日・祝)、11月4日(月・振替休日)

●相生祭同時開催個別相談会 ※

・11月3日(日・祝)、11月4日(月・振替休日) 10時～15時

*日程・実施方法・事前予約の有無等が変更になる場合があります。事前にHPで最新情報をご確認ください。

●WEBオープンキャンパス

自宅にいながら大学・短期大学部の学びの内容を理解できる
 WEBオープンキャンパスを開催しています。



↑
 WEBオープン
 キャンパス
 詳しくはこちら

●個人での学校見学

お友達や保護者の方とゆっくりキャンパス見学ができます。

[受付時間]

平日 9時～17時

土曜日 9時～12時30分(土曜日窓口開室スケジュールは本学HPよりご確認ください。)

日曜日・祝日は休業(ただし正門守衛にてパンフレットを受け取ることができます。)

[お問合せ] 相模女子大学・相模女子大学短期大学部大学事務部 入試課
 ●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp
 フリーダイヤル：0120-816-332 携帯から：042-749-5533
 (平日9時～17時、土曜日9時～12時30分) Mail：kouhou@isc.sagami-wu.ac.jp

高等部

※HPにて要予約

●個別学校案内 ※

・7月27日(土)～8月24日(土)、平日9時30分～15時/土曜日9時30分～12時30分
 *日曜/祝日、特定日を除く

●学校説明会・体験授業 ※

・第1回学校説明会 9月7日(土) 13時30分～16時
 ・第2回学校説明会 10月26日(土) 13時30分～16時
 ・第3回学校説明会 11月16日(土) 9時30分～12時
 ・第4回学校説明会 11月30日(土) 13時30分～16時

●公開行事【相生祭】

・11月3日(日・祝)、4日(月・振替休日)

●入試個別相談会 ※

・12月3日(火) 16時～19時 ・12月4日(水) 16時～19時



WEB
 オープンスクール
 詳しくはこちら→



高等部
 学校説明会
 公開行事
 詳しくはこちら→



[お問合せ] 相模女子大学高等部
 TEL：042-742-1442 (平日9時～17時、土曜日9時～12時30分)
 Mail：kou@mail2.sagami-wu.ac.jp



※予定は変更になる場合があります。事前に各部 HP にて最新情報をご確認ください。

中 学 部

※HPにて要予約

●プチセツ ※

- ・プチセツ3 9月12日(木) 10時～11時
- ・プチセツ4 12月12日(木) 10時～11時
- ・プチセツ5 1月9日(木) 10時～11時

●プログラミング体験会 【小学4、5、6年生対象】 ※

- ・プログラミング体験会4 9月7日(土) 9時30分～11時00分
- ・プログラミング体験会5 10月12日(土) 9時30分～11時00分

●適性検査型入試体験&説明会 【小学6年生対象】 ※

- ・適性検査型入試体験&説明会1 9月14日(土) 14時～16時
- ・適性検査型入試体験&説明会2 11月9日(土) 14時～16時

●学校説明会 ※

- ・学校説明会2 10月5日(土) 9時30分～11時30分

●ナイト説明会 ☆予約不要

ユニコムプラザさがみはらミーティングルーム4(ホーノ相模大野サウスモール3階)

- ・ナイト説明会1 10月16日(水) 19時～20時
- ・ナイト説明会2 11月13日(水) 19時～20時
- ・ナイト説明会3 12月13日(金) 19時～20時
- ・ナイト説明会4 1月17日(金) 19時～20時

●学校行事【相生祭】

- ・11月3日(日・祝)、11月4日(月・振替休日)

●プログラミング入試体験会 【小学6年生対象】 ※

- ・プログラミング入試体験会1 11月16日(土) 9時30分～11時00分
- ・プログラミング入試体験会2 12月14日(土) 9時30分～11時00分
- ・プログラミング入試体験会3 1月11日(土) 9時30分～11時00分

●過去問解説会【小学6年生対象】 ※

- ・過去問説明会 11月30日(土) 9時30分～12時10分

【お問合せ】 相模女子大学中学部
TEL : 042-742-1442 (平日9時～17時、土曜日9時～12時30分)
Mail : chu@mail2.sagami-wu.ac.jp

中学部
学校説明会
公開行事
詳しくはこちら→



小 学 部

※HPにて要予約

●「勉強って楽しい」と感じる授業体験オープンスクール ※

- ・7月28日(日) 9時20分～12時【年中・年少対象】

●ナイト説明会 ※

ユニコムプラザさがみはらセミナールーム2(ホーノ相模大野サウスモール3階)

- ・7月29日(月) 19時～20時

●学校説明会 ※

- ・第3回学校説明会 9月4日(水) 9時20分～12時
- ・第4回学校説明会 9月22日(日・祝) 10時10分～11時40分

●学校行事【相生祭】 ※

- ・11月3日(日・祝)、4日(月・振替休日)
幼稚園から大学まで学園全体の学園祭。鼓笛の学内パレードやグラウンドドリル、劇や合唱をご覧ください。

●学校説明会【次年度以降受験希望者向け】 ※

- ・11月27日(水) 9時20分～12時

●学校行事【造形展】 ※

- ・2月11日(火・祝) 9時～15時
全校児童の図工作品を展示します。園児が参加できるワークショップも開催予定です。

●「勉強って楽しい」と感じる授業体験ミニオープンスクール ※

- ・3月1日(土)【年中・年少対象】
① 9時00分～9時40分 ② 9時50分～10時30分
③ 10時40分～11時20分 ④ 11時30分～12時10分

【お問合せ】 相模女子大学小学部
●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp/sho/
TEL : 042-742-1444 (平日9時～17時)
Mail : sho@mail2.sagami-wu.ac.jp

*イベント予約・詳細は、HP「イベント情報」にてご確認ください。
*最新情報をメールで受信することも可能です。



←イベント情報

最新情報
メール配信サービス→



幼 稚 部

●入園希望者対象入園前個別相談会

- ・8月28日(水)、29日(木)、30日(金)
※10時30分～15時の間で
1人30分程度を予定しております。

●認定こども園相模女子大学幼稚園入園説明会

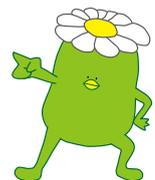
- ・第2回 9月5日(木) 10時～11時
- ・第3回 10月29日(火) 10時～11時

●もも組入会説明会(2歳児対象)

- ・9月5日(木) 9時30分～

●こんにちは会

- ・9月18日(水) ・10月9日(水)
- ・11月13日(水) ・12月11日(水)
- ・1月15日(水) ・2月12日(水) ・3月5日(水)



【お問合せ】 認定こども園相模女子大学幼稚園部
●詳細はHPをご覧ください。 www.sagami-wu.ac.jp TEL : 042-742-1445 FAX : 042-742-1431

学園各部ホームページ紹介

高等部 中学部

見つけよう、私。はじめよう、未来。



HPはこちらから
ご覧ください

大学院 大学 短期大学部

見つめる人になる。見つける人になる。



HPはこちらから
ご覧ください

幼稚部

幼稚部つなぐ手

幼稚部ホームページ今秋
リニューアルオープン予定！



HPはこちらから
ご覧ください

小学部

毎日会いたい友だちがいる 毎日学ぶよるこびがある



HPはこちらから
ご覧ください



テレビ神奈川「あっぱれ！ KANAGAWA 大行進」の撮影が行われました



4月27日(土)にテレビ神奈川(TVK)の人気番組「あっぱれ！ KANAGAWA 大行進」の撮影が行われました。

この番組は、神奈川県内の全市町村を1年間かけて巡る超地元密着のふれあい番組です。大橋彰(アキラ100%)さんとテレビ神奈川アナウンサーの照井七瀬さんがコンビを組み、神奈川県内33市町村各地の魅力や観光スポット、地域の人々との交流などを取り上げて紹介しています。今回は相模原市南区の紹介で本学にスポットが当たりました。



学園各部 報告

学園

風間誠史理事長らが帝国女子専門学校跡地にある碑を訪れ戦災犠牲者を慰霊しました

4月16日(火)、風間誠史理事長をはじめ、田中百子同窓会長、同窓生らが本学の前身である「帝国女子専門学校」の跡地(東京都文京区大塚)に立てられた「大塚発祥の地」の碑を訪れ、戦災犠牲者を慰霊しました。1945年4月13日夜半から14日未明にかけての大空襲により、帝国女子専門学校の校舎と学寮は全焼し、学生3名・寮母1名が犠牲となりました。当時の田中義能校長は「校舎は焼けても、学校は焼けない。学校には永遠の命がある。」と教職員や学生を励まし、間もなく拓殖大学の一部を借りて授業を再開しました。その後、現在の相模原市の旧陸軍通信学校跡地に移転し、相模女子大学として発展しました。戦災から79年経った地を訪れ、犠牲になられた方々に哀悼の意を捧げました。(総務課)



同窓生に語り継がれる当時の話に耳を傾ける風間理事長ら



本学の前身「帝国女子専門学校」跡地に立つ「大塚の碑」

大学院・大学・短期大学部
「捨てられている農産物を使って、健康によくて美味しいスープを開発する」英理女子学院高等学校での出前授業を行いました。

英理女子学院高等学校2年生の課題解決型探究学習に、人間社会学部社会マネジメント学科教員がチームで取り組む出前授業を4月〜6月にかけて5日間、全8時間行いました。社会マネジメント学科から提案したテーマは「商品開発を通じて社会のしくみを考えよう」。具体的な内容は「捨てられている農産物を使って、健康によくて美味しいスープを開発する(例えば文化祭で販売)」です。井坂聡教授(映像制作、コミュニケーション)、金森剛教授(マーケティング、経営戦略)、木本玲一教授(文化社会学、歴史社会学)、湧口清隆教授(交通、経済政策、地域活性化)と、社会マネジメント学科らしい多様な専門分野の4人の本学教員が、その特色を活かして生徒たちと一緒に考えながら取り組みました。



第1回授業(木本玲一教授)



第2回授業(金森剛教授)

その成果は、後日改めてホームページ等でお伝えいたしますのでお楽しみに。(社会マネジメント学科)



第3回授業(湧口清隆教授)

相模原・町田地域の学生向けの就職セミナーを開催

相模原・町田地域教育連携プラットフォームによる地元就職を目指す学生に向けて「就職セミナー」を開催しました。第1弾は5月18日(土)相模女子大学を会場とし、「相模原エリア」の企業、第2弾は6月15日(土)に町田センタービルにて、「町田エリア」の企業をお招きし、開催しました。プラットフォームに加盟する大学等の学生たちが数多く参加し、地元就職を希望する学生にとって、企業の方々と直接お話しができる大変貴重な機会となりました。

相模原・町田地域教育連携プラットフォームは、町田市と相模原市に所在する大学等8校、および町田市、相模原市、町田商工会議所、相模原商工会議所が参加する団体で、本協定に基づき、市民の学習・教育機会の充実や地域貢献活動などに取り組んでいます。(就職支援課)



「就職セミナー」の様子

中学部・高等部

他学年との交流

5月2日(木)に中学部で新入生歓迎会を行いました。今年の新入生歓迎会では、「バースデーライン」「鬼ごっこ」「ドッジボール」「借り物競争」の4つのゲームを行いました。特に白熱したゲームは「借り物競争」でした。「借り物競争」はチームごとに、各学年から人を一人ずつ出して3人1組のチームになり、お題に合った人を探し、連れて来るゲームです。普段は関わらない他学年の人とも、ゲームに勝つための作戦を話し合ったり、チーム同士、分らないことや困ったことがあったら、助け合うことができました。ゲームを通して、他学年との交流をたくさんすることができ、とても楽しく素敵なお出になりました。

仲間の大切さ

バレーボール部は、県大会に出場して一試合でも多く勝つことを目標に日々練習に励んでいます。みんなで努力してきた結果、1月と5月に行われた大会で、地区予選を突破し、



試合開始前の整列



後輩にハチマキを渡す3年生



ドッジボール大会

(中学部 池田桃葉)

県大会出場を果たすことができました。厳しい展開の試合もありましたが、チーム一丸となって乗り越えてきましたことで、よりチームの絆が深まったと実感しています。引退試合までの残りの時間を全力でバレーボールと向き合い、悔いのないようやり切って、最後は顧問の先生や仲間と嬉し涙で送られるよう頑張ります。

(高等部バレーボール部部长 神笠寧子)



試合後の集合写真

心で感じるJPS

今回、JPS展にて自分の作品が受賞できたことを非常に嬉しく思っています。数十年前から一人暮らしをする祖母と、遺影の中の祖父を撮影する際に感じた物寂しさを表現するために、何度も試行錯誤をしながら撮影しました。こうして素晴らしい結果を残せたことは、私にとって大変貴重な経験と



受賞した作品

体育祭で楽しかったこと

昨年度の体育祭はコロナで応援団がなかったのですが、今年度の体育祭は応援団も復活し賑やかで楽しい体育祭になりました。その中でも今回私が楽しかったことはさがっば運びリレーです。4人1組で2本の長い棒を持ち、「さがっばジョー」を運びリレー形式の中学部種目です。中学部体育祭運営委員では、バランスボールをさがっばジョー風にペンキ塗りするところから始まりました。ペンキ塗りはとても大変だったのですが、先生方や生徒から「かわいい」と言ってもらえて嬉しかったです。また、本番でも1〜3年生が笑顔で参加していて、この競技にして良かったと感じました。

今年の体育祭はとても楽しかったので、来年も中高共に楽しいと思える体育祭にしたいです。

(体育祭運営委員長 中学部2年 岩滝紗寧)



綱引き



中学部種目「さがっば運びリレー」

なりました。これからも、ファインダーを覗いた瞬間の自分の感情を大切に、撮影していきたいです。

(高等部写真部 高島彩那)



JPS展で受賞した高3の高島さん

成長

2年の終わり頃に、体育の先生に「体育祭運営委員やってみないか」と声をかけて頂きました。そのことをきっかけに、自分を中心に体育祭を作っていきたいと思いましたが、「今までは裏で前に立つ人のサポートばかりでしたが、「体育の授業を意欲的に取り組んでいたり、責任感がある人に声をかけて」と言っていたとき、人の前に立つ自信ができました。

三年生で運営委員長になり、何十人もの実行委員をまとめることに苦労しましたが、先生方や副委員長、運営員のメンバーに助けってもらい、やり遂げることができました。体育祭当日は様々なアクシデントがありましたが、今までで一番の思い出を作ることが出来ました。みんなを取りまとめるのに慣れてきた頃には体育祭が終わってしまいました。今回得た経験を体育祭だけで終わらすのではなく、今後様々な場面で活かしていきたいです。(体育祭運営委員長 高等部3年 矢後ほのか)



クラス対抗でのリレー



障害物競走

感動の仕上がり！
楽しくてかっこいい小学部運動会・全校演技

5月25日(土)、第73回「小学部運動会」を行いました。当日は程よい曇り空で、運動するには最適な天候の中、子どもたちは思い切った力を発揮することができました。また、とても多くの保護者の皆様にお越しいただき、保護者種目の「綱引き」では、参加人数に対して綱の長さが足りず、2回に分けての勝負となりました。同窓生の皆さんも大勢いらして、同窓生レースは例年以上に大盛況でした。

伝統の全校演技は『全校魂2024』と題して、ポンポンを使ったダンスを披露しました。前半の高学年パートは、曲『DJ not alone』に合わせてダイナミックで力強いダンスを、低学年から始まり全校で踊る後半部分は、曲『ハイスクール ミュージカル』に合わせて、リズムカルで躍動感あるダンスをしました。運動会前に行う全校演技の練習期間は、たったの2週間ですが、ここまでの完成度に仕上がるのは、毎年の積み重ねがあるからです。あのコロナ禍にあっても全校演技につながる表現運動の火を絶やさなかったことが、今回の完成度につながっていると確信しました。(大熊)

小学部



歓喜の瞬間



5、6年生有志による剣舞



ペアで息を合わせて

お散歩大好き

年長組に進級し、身体だけでなく心も成長した子どもたち。友だちのことが大好きな気持ちが日々の生活から伝わってきます。登園すると「今日は製作をして遊ぼう」「昨日の続きしよう」と友だちと話をし、おままごとや製作や折り紙など好きな遊びに夢中です。身体を動かすことも大好きで、「いつお散歩に行く?」「お散歩に行きたい」と学内散歩に行く楽しさを感じています。

散歩に行く中で、自然を肌で感じたり、触れたりしながら、友だちと共に歩く心地良さを味わっています。大学グラウンドで走って遊んだり、ピオトープの近くで昆虫探しや植物に触れることを楽しんだり、季節の植物を探したりとその時々で子どもたちと散歩のルートを決めています。初めは好きな場所を何度も訪れていましたが、今では「シロツメクサが沢山あるから、ここに行こう」「ここには沢山昆虫がいるかもしれないよ」と自然の様子や経験を元に、行きたい場所を選択しています。

散歩をしていく中で、大学生・高校生・中学生のお姉さんや小学生のお兄さん・お姉さん、キッチンカーで作業をしている方など様々な人に出会います。挨拶をしたり手を振ったりと繋がりを持てるのが子どもたちも嬉しいようで、人との出会いの中で様々な気付きや発見をしています。今後も、子どもたちと一緒に自然を肌で感じながら散歩を楽しみ、様々なことに興味や関心を持つるように見守っていききたいと思っています。(西山)



お花を摘んだよ!



走るの大好き!

認定こども園 幼稚部



ひろこの音部屋は
今年1000回を迎えます
さくま ひろこ
(平成3年短期大学部英文科卒)



さくまひろこ
公式ブログ

全国コミュニティFM66局、パラオ、メキシコOA
「ひろこの音部屋」制作パーソナリティ

平成3年、短期大学部英文科を卒業してからは地元静岡県に戻り、正社員として印刷広告会社に勤めておりました。同僚上司に恵まれ充実した日々を過ごしていたのですが、小学生の頃、七夕の短冊に書いた「歌手になりたい」という夢が私の中に浮かんで消え巡っていたのです。

何となく歌ってみたデモテープ、作ってみた曲を投稿してみたり、そのご縁でピアノ弾き語りライブを始めることとなります。お誘いを受けコミュニティFMでラジオ番組もスタート。

ピアノを弾きながら歌うなんて、ラジオでトークなんて出来るのかな？そんな気持ちのまま始めた活動が、20年も続くとは予想していませんでした。

当初は地元のコミュニティFM1局の放送でした。テーマ選定、原稿、構成、録音、編集、配信と全て1人作業の制作。こんなにも思いを込めた番組をもっと広めたい。私の思い一つでPRを重ね、気づけば全国へネットが広がっていました。北海道から沖縄まで拡大したところで、海外にも届けたい、その願いが届きパラオとメキシコでの放送もスタートします。

子供の頃、テレビやラジオで夢中で聞いていた憧れのミュージシャン、作家の先生も次々とゲスト出演して下さるようになりました。

毎週放送の30番組。1人きりでの制作は大変なこともありましたが、20年を振り返りますと、出産、子育て、入院。そんな時にも放送が止まる事が無いよう、ため録り前録りで乗り切ってきました。そして2024年番組は1000回を迎えます。

今年には日本パラオ外交樹立30周年の年でもあり、大使館からお招き頂き1月にパラオで3公演、弾き語りライブをしてまいりました。現地の子供たちとの歌唱ステージもあり、ローマ字の歌詞を見て私の曲「生まれてから」を歌唱して下さる姿に涙が溢れました。

思いがけず大統領から親善大使にもご任命頂き、大変光栄に思っております。「ダイジョウブ」「メンドクサイ」など、パラオには日本語が沢山存在します。中でも「ツカレナオス」は「ビールを飲むこと」。ビールを飲むことにつながるパラオ語を集め「ツカレナオス」という曲も制作し、パラオの皆さんにも喜んで頂きました。

相模女子大の学食、大好きでした。ほんの2年間の短大生活ではありましたが、緑豊かなキャンパスで過ごした時間は私の心に栄養を与えてくれました。

「ひろこの音部屋」を皆さんにお聴き頂けましたら嬉しいです。

公式ブログ <http://sakumahiroko.blog24.fc2.com/>

youtubeチャンネル <https://www.youtube.com/channel/UC17wammQUh90ei6Bb9L2nlw>

ご寄付のお願いとお申込方法について

「マーガレット募金」及び「創立125周年記念事業募金」を以下のとおり実施させていただいております。ご支援いただきました皆様に対し、心より御礼申し上げます。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

125周年募金委員会委員長 速水 俊裕 マーガレット募金委員会委員長 竹下 昌之

創立125周年記念事業募金

本学園は、2025年に創立125周年を迎えます。
相模女子大学創立125周年記念事業は、「女性の活躍を支援し、地域とともに発展する「開かれた学園」へ」というコンセプトを掲げ、「学園キャンパス整備事業」「周年誌編集・学園アーカイブ室設置事業」「式典・広報事業」の三事業を実施する計画を進めております。
皆様からいただきましたご支援は、この三事業による地域の活性化と本学園の更なる発展に有効に活用させていただきます。

マーガレット募金

本学園の継続的な発展を目的とし、平成20年度に開設いたしました。使途について、「学習活動支援」「キャンパス整備」「教育・研究活動支援」よりご支援先を指定いただくことができ、また、「目的を指定しないご寄付」もお受けしております。

この中でも「学習活動支援」については、「大学・短期大学部」「中学部・高等部」「小学部」「幼稚部」と支援対象をより細かく指定することができます。

皆様からいただきましたご支援は、ご指定の使い道に従って有効に活用させていただきます。

募金内容

お申込方法 (個人の場合)

① お振込 (郵便局または銀行窓口) ② 郵送 (現金書留) またはご持参

詳細につきましては、大学ホームページ (<https://www.sagami-wu.ac.jp/>) をご覧いただくか、下記事務局までお問い合わせください。

③ インターネットから申込の場合

クレジットカード決済となります。
ホームページ上の入力フォームに必要事項を入力の上、ご送信ください。



マーガレット募金
インターネット
申込入力フォーム



創立125周年記念事業募金
インターネット
申込入力フォーム

●お問合せ先 学校法人相模女子大学 学園事務部 経理課
〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 TEL:042-747-9558 FAX:042-749-6500 E-mail:bokin@mail2.sagami-wu.ac.jp

●その他奨学寄付金等のご寄付に関するお問合せ先
相模女子大学・相模女子大学短期大学部 大学事務部 学術研究支援課 TEL:042-747-9570 FAX:042-743-4916